

戦評

大会名 令和元年度第72回青森県高等学校総合体育大会バレーボール競技

日 時 令和元年6月1日～3日

会 場 青森県武道館

男子決勝（6月3日）

五所川原工業高等学校 2 $\left\{ \begin{array}{c} 25-17 \\ 25-17 \end{array} \right\}$ 0 弘前工業高等学校

ファーストレフリース 新岡 勇士

セカンドレフリース 津嶋 由香

決勝は、6年ぶり8回目の優勝を目指す五所川原工業高等学校（以下五工）と6年連続41回目の優勝を目指す弘前工業高校の（以下弘工）の対戦。

第1セット開始直後に五工は4点連続失点でタイムアウト。その後、岡本、山谷らのスパイクやサービスエースで6連続ポイントを得て、セット中盤に逆転に成功する。その後も安定した守備と多彩な攻撃を展開し、25-17で第1セットを先取した。

第2セット序盤、五工の速攻や時間差攻撃が決まり、6点のリードを得る。対する弘工は角田、奥崎、櫻庭のスパイク、ブロックで並びかけたが、中盤から終盤にかけて、五工は倉光、岡本のスパイク、サーブが決まり、マッチポイントを迎える。最後は三上のブロックが決まり、第2セットも25-17で五工が奪った。

攻守に安定した五工が、セットカウント2-0で6年ぶり8回目の優勝を決めた。

戦評者 本 間 貴 士